



東京都本部
「不屈」No.600付録
東京版No.501

治安維持法犠牲者
国家賠償要求同盟

〒113-0034

東京都文京区湯島2-7-8

芳音お茶の水ビル1F

電話 03(6240)0283

FAX 03(6240)0284

振替 00100-5-99628

5月27日、「市民連合と野党共闘」の要請を受けて、蓮舫さんが「反自民、非小池知事のオール東京でたたかいたい」と都知事選挙に立候補することを力強く表明しました。「出たい人より出したい人」が候補者になりました。人権を守り緑豊かな東京を築くために勝利めざして、全力をあげましょう。(写真は「しんぶん赤旗」提供 市民連合代表者・政党幹部とともにガッツポーズの蓮舫さん)

都知事選に勝利し

東京から、自民政治を変える、平和への発信を

事務局長 中嶋 育雄

岸田自民党政権は「戦争する国づくり」を加速しています。自公政権は「秘密保護法(13年)」「安保法制(戦争法15年)」「共謀罪法(17年)」「安保三文書(敵基地攻撃能力を明記22年)」「そして5月17日の「経済安保秘密保護法(24年)」と矢継ぎ早に閣議決定し、国会論議も不十分なまま、多数で採決を強行しました。5月30日には戦前回帰の「地方自治法改定案」が衆議院で自民・公明・維新・国民の賛成で可決されました。この法案は、政府が必要と考えたとき、地方自治体に「指示権」を使い国の方針を強制するものです。現在の地方自治法は、戦前の中央集権的な体制のもとで自治体が侵略戦争遂行の一翼を担わされたことを反省し、制定されました。憲法に独自の章を設け「地方自治」を明記、国と地方は対等です。今回の地方自治法改正は、まさに戦前と同じく、自治体に戦争遂行の役割を担わせるものです。

企業団体献金による裏金にまみれた自民党は、企業団体献金を引き続き温存するという。侵略戦争も、金権疑惑も反省しない自民党政権を変え、憲法に基づく民主政治実現に全力をあげましょう。衆議院補選で市民と野党の共闘が3連勝、ここに政治を変える展望を切り開きました。いよいよ都知事選も市民と野党の共同が作られました。美濃部革新都政が誕生したとき、70歳までの老人医療費無料化を国も認め、全国に広がりました。都知事選に勝利し、東京から自民政治を民主政治に変え、平和へと発信しましょう。その力で来るべき衆院選勝利への展望を切り開きましょう。

戦争か平和かの重要な情勢の中で、東京都本部第47回大会を迎えます。「ふたたび戦争と暗黒政治を許さない」を掲げる同盟の果たすべき役割はますます重要になっています。

この役割を果たせる都同盟建設に向け、都知事選で地域の共同に参加し、全支部決起で会員拡大も大きく前進させましょう。

ふたたび戦争と暗黒政治を許さないために

- 一、治安維持法体制の復活に反対する。
- 二、国は、戦前の治安維持法が人道に反する悪法であると認めること。
- 三、国は、治安維持法の犠牲者に謝罪と賠償を行うこと。

都本部大会成功「会員拡大特別期間」の目標達成を

第10回理事会 5月24日

自民党は、裏金問題を反省せず、裏金と統一教会との深いつながりのある萩生田氏を東京都連会長に選んでいます。いよいよ都知事選挙候補が決まりました。平和都市宣言を拒否している小池都政を民主都政に変えて、ヘイトスピーチ、朝鮮学校の差別をなくし、東京から平和への発信をしましょう。来るべき衆院選勝利への展望を開きましよう。7月都本部大会成功へ「会員拡大特別期間」40人目標達成めざし、都本部役員を先頭に、全支部で取り組みましよう。自民

都本部大会に向けて「5・7月 映。全都の空白を埋める。各支部で本格的取り組みを。治安維持法施行100周年への取り組み

支部建設

渋谷支部準備会9月予定。各支部は「支部活動の手引き」を活用し、支部の体制、活動強化を進める。

会員拡大

5月30日現在、5支部16人の拡大。25年治安維持法施行100年を見据えた支部計画を作る。

女性部活動

東京母親大会12月。全国女性交流会の成功へ取り組みを強める。

「伊藤千代子」第3次上映運動

板橋、八王子、足立、渋谷で上映会、空白の5区、三多摩7地区で上

第47回都本部大会

日時 7月27日(土) 10時開場
第1部 特別講演「経済安保の本質」
佐々木憲章 前衆議院議員

10時半〜12時

*支部から積極的な参加を!

第2部

都本部大会 13時半開会〜16時半閉会
会場 文京区シビックセンター 4階ホール

記念集会(案)を検討中

◆会場 文京区シビック小ホール

◆25年4月 13時半開会予定

*記念講演「菱谷さんの生涯」

*女性講師による「多喜二」

*菱谷さんビデオメッセージ

都本部の活動日誌

5月1日 メーデー

5月3日 憲法集会

5月6日 平和行進出発式

5月8日 不屈発送

5月9日 亀戸事件実行委員会

5月11日 多喜二実行委員会

5月13日 三役会

5月15日 国会請願

5月18日 東京母親大会実行委員会

5月21日 渋谷支部相談会

5月24日 第10回理事会

5月25日 八王子支部総会

5月28日 鶴形顕彰会

5・15国会請願



た。

いよいよ都知事選候補者が蓮舫さんに決まり、スタートを切りまし

私は都議会でも外苑再開発を追求し、住民運動とも連携し取り組んできました。蓮舫さんが現地調査を行い、国会、都議会の意見をまとめ、見直し方針がきました。蓮舫さんで都知事選勝利に全力を挙げます。そして都政を都民の手に取り戻したい。

(青年部事務局長 原田あきら都議会議員)

三役会議

6月7日(金) 13時半

会場 都本部ビル2階

理事会

6月26日(水) 午後13時半

会場 文京区男女平等センター

経山河

6月3日6時31分にスマホ、テレビ、防災無線放送の警報が鳴り響いた。「不屈」を校正していた手を止め、コンロのガスを確認してテレビに見入った。富山湾で大地震発生、津波の恐れあり、注意ください! 震源地は能登半島、マグニチュード5.9、最大震度5強、津波なし! 雨の直後で土砂崩れの心配をしたが、震度5弱だった能登町の親戚は変わりなく安堵! 当初、2月中旬に水道が復旧するとの話が5月中旬に。ようやく自宅の風呂に入り、トイレにも水を流せるようになった。被害の大きかった珠洲市や輪島市は、いまだに水道の復旧すらできていない地域がある! 5月21日には、町内唯一のスーパの床が修理され、平らになり安心して買い物ができるようになったとのニュース。買い物にきて、客同士で話ができてうれし! 修理を請け負ったのは東京の業者! 従兄の家屋の修繕はいつになるのか目途が立たないようだ。町内はもちろん県内の業者だけでは、追いつかない状況! 政府は先週になって、ようやく復旧・復興に520億円の予算を追加。人も物も金もつき込んで一日も早く復旧・復興を進めてほしい! 元旦に変圧器の油漏れを起して大惨事の一手手前だった志賀原発。今回も異常なしとしか発表していない。廃炉にしないと、逃げ場のない能登はもう日本の明日はないと思うのだが。

(正)

各支部・会員から

5月15日は、治安維持法犠牲者国家賠償要求同盟の国会請願行動でした。午前11時に衆議院第一議員会館に全国から150人が集い、



大正7年生まれの父は旭川江丹別で、戦後から共産党員として生涯貫いて活動しました。絵を描いたり、短歌を詠んで「しんぶん赤旗」に投稿していたので、「もしかして旭川でお会いしているかも知れない」との期待もありました。

集会と議員要請を行いました。東京からは24人が参加し、うち9人が初参加でした。東京は、9,500筆の署名を持参しました。25人の議員事務所を訪問し、6,500筆を届けました。12人の議員が紹介議員を引き受けてくれました。4月の衆議院補選で唯一市民と野党の統一で戦い、勝利した東京15区の酒井なつみさんも快く引き受けてくれました。

治安維持法犠牲者の声を聴け

足立支部 佐藤純子

吉田会長から「佐藤さんの出身地は旭川だったよね」と歯の治療中に声を掛けられ、区議時代に加わっていた会に再入会しました。103歳の菱谷さんにお会いしたくて国会請願に参加を決めました。



菱谷さんと（中央が佐藤さん）

また、夫は北海道教育大学旭川分校出身で、大学時代の友人との会話に、小田切ゼミの話がよく出てきていたので「何らかのかかわりがあったのでは？」との思いがあり、本棚にあった『戦時下北方美術教育運動（小田切正著）』を持って参加しました。全国からの参加者や力強い菱谷さんの発言を聞き、粘り強い活動に感動しました。

最近「治安維持法は…」と話す「それなあに？」との返事。「えっ!? 小林多喜二『蟹工船は…』といっても「?」という人がいて、驚いています。もつと知らせていく必要を感じます。今、軍事費の拡大、戦闘機の輸出、重要経済安保秘密保護法の改正と次々に危険な動きをしています。過去の反省あつての平和ですよ。治安維持法犠牲者の声を聴け!

多喜二を偲ぶフィールドワーク

港支部 小河原洋子

5月11日（土）、夏日にせまりそうな日でした。念願の「多喜二を偲ぶ

ぶフィールドワークを実施しました。麻布十番駅に集合、同盟顧問の藤田廣登さんを含め、10人が参加してくれました。近くの公園に移動しコーズの説明を受け称名寺へ。十番商店街からは少し離れた場所にあり、入り口に小さく「称名寺」の石碑があります。この奥の家に人目を忍んで多喜二は伊藤ふじ子さんと新婚生活をおくっていたといわれています。十番商店街方面の麻布山は当時は浅草と同じように人通りも多く賑やかで、むしろそのような場所の方が人混みに紛れて、というように都合が良かったようです。

次に多喜二がおかあさんと今生の別れをした山中屋フルーツパーラーに行きました。「豆源」の角を左に曲がり少し行くとパーラーがあります。入り口があり、裏口からもぬけられる店で、多喜二にとつては都合がよかったのでしょうか。現在は「てもみん」になっています。

十番から大江戸線で築地市場へ。狭い通りはインバウンドの人たちでいっぱい。かきわけかきわけ、参加人数を確認しながら歩く。以前の築地市場跡は高いゲートで覆われていました。築地本願寺は不思議な建物です。様々な宗教を受け入れているのでしょうか。ここは予約をしないと食事出来ないとのこと、私たちは

少し先のデニーズへ。

約1時間位の昼食休憩後、

築地小劇場の跡地へ。3・10の東京大空襲で劇場は

焼けてしまい、今はレリーフだけが残っています。葡萄のマークの築地小劇場は芝居だけではなく、プロレタリア作家大会がおこなわれたりして、多喜二もこの劇場で演説したそうです。

今ここは再開発が行われるとのこと、中央区はこの歴史ある劇場のレリーフをどうするのか注目です。国賠同盟としても、残す方向で協議が求められると思います。私は葡萄のマークが気になっていました。なぜ葡萄なのか？ 葡萄はバツカス、バツカスはお酒の神様ですが、芸術、芝居の神様でもあると教えられたことを思い出しました。

次に、築地署で拷問を受けた多喜二が連れて行かれた前田医院に。昔は築地医院と言ったそうです。築地署の裏口からすぐのところにある、



もう絶命しているにもかかわらず治療したと、申し訳程度にカンフル剤を打ったそうです。最後は築地署の前にある公園で休憩後、デニーズでお疲れ様会をして終了しました。

多喜三の人を引きつける不思議な魅力。世の中の底辺で生きる人々への篤くて暖かい眼差し。このスタンスは共産党員としての揺るぎない信念と生き方の現れだと思えます。

港支部として称名寺ヘレリーフをつけていただく運動を真剣に考えなくてはならないと思いました。

大田における反戦平和の闘い―戦前の治安維持法との闘いを引き継いで

大田支部

5月25日に表記の講演会を開催しました。いろいろな行事と重なり、参加者が17名でしたが、参加者から

ピースボートの旅に出て、約一ヶ月が経ちました。7つの港で日帰りツアーをしなが、アフリカのケープタウンを周りナミビア砂漠を見てスペインに向かっています。

船内にはコンゴで働いている日本人女性が乗っていて、講座を開いています。世界では忘れられたようになっていて、報道されていませんが、30年も戦争が続いているとい



ふたたび戦争と暗黒政治を許さないために
国際同盟大田支部 大田

は「大変興味深く、大田の闘いの伝統に確信を持った」との感想が寄せられました。この講演会で、新たに4人

の会員が増えました。山本昌平さんが「基調講演」で戦前の大田での不屈な闘いの伝統と戦後の闘いへの継承を話しました。また、「サブ報告」として①戦前・戦後の東京計器の闘い ②「南葛から南部へ」伊藤憲一さんの足跡 ③戦前の過酷な弾圧下での京浜労働者グループの社会科学学習の報告があり、充実した時を送りました。

う話です。国王を覆う森林と豊富な資源が紛争のもとで、武装勢力が活発に活動しているそうです。

されず、関わりない地域は何事も知らずにいるそうです。私もフチ族とツツ族とあり、対立させられていると聞いていました。これは作られた対立で、住民は日常的にレイプされたりして恐怖の中に生きていると、恐ろしいことに、収束されずに続いていたのです。胸の痛み話です。

船上で学ぶ「コンゴの紛争とは？」

副会長 風間 秀子



予定時間が迫っていることから、再上映会を約束して終了。岸田政権の暴走とたたかうため、再上映会と支部大会を成功させます。

「やませんの生涯」上映会に40人

八王子支部 清水邦治

5月25日八王子支部の定期大会の前座に一般公開の上映会を開催したところ、40名の参加者がありました。会員には役員が手分けして参加を呼びかけ、あとはチラシを見ての参加でした。昭和の初め、伊藤千代子たちが第1回の国政選挙に全力を挙げ、労農党から山本宣治ら2名、他に無産諸派6名が当選。これに恐れをなした天皇政府はただちに3・15弾圧へ。伊藤千代子も捉えられ拷問とたたかいます。さらに政府が治安維持法に死刑罪と目的遂行罪を加えました。ただ一人山宣は抵抗、数々の弾圧非業を暴露したために刺客に襲われ暗殺されます。後を追うように千代子も獄死。農民の小作争議支援、国策「産めよ増やせ」に抵抗する産児制限運動の山宣を慕う埋葬行進、これを官憲の目を掻い潜って撮影した貴重なフィルムに見入っていた時、突然電源が切れるアクシデント。

川柳

植竹団扇 選

有明で娘に出会い未来見え

新宿区 阿部 俊雄

スーパージョと財布みつめる年配者

練馬区 中村 茂樹

投機屋に追い銭わたす財務相

調布市 稲邑 明也

学費値上げ学ぶ権利を脅かす

豊島区 藤本 増美

裏金に萩生田まるで無反省

中野区 中嶋 育雄

憲法を変えるものこそ非国民

足立区 高橋 陽子

山宣の映画の帰途の黒い雲

八王子 清水 邦治

高級官僚退職を機に暴露する

荒川区 風間 秀子

真夏日の百合子カイロで大火傷

団扇

【読者のみなさんの投稿歓迎】

能登半島地震の被災者救援募金は

都本部まで

第47回東京都本部大会運動方針(案)

一、本大会の任務

します。

岸田首相は、企業団体献金による裏金問題を反省せず、資金パーティーも企業・団体献金も残した改革案、そして渡米して、日本の主権を投げ捨て、米軍指揮下での戦争の約束、武器の共同開発、研究者、関係企業、団体を規制し、戦時物資、要員の確保をめざした経済安保(経済分野に秘密保護法の適用)など、戦争準備のために国民生活を犠牲にする自民党政治は許せません。

同盟の役割はますます重要です。都同盟50周年向け首都東京にふさわしい同盟建設をめざします。本大会の任務は次の四点を協議し、決定することです。

二、都同盟の任務と情勢の特徴

2021年10月に発足した岸田自公内閣は、自民党の政治資金パーティーをめぐる裏金事件で、一層混乱を深めています。

岸田自公政権は、戦争国家づくりの悪法である13年の「特定秘密保護法」15年の「安保法制」17年の「組織犯罪処罰法改正(共謀罪)」に続く21年に「土地利用規制法」22年に「経済安保法」24年に「経済秘密保護法」「統合作戦司令部設置法」「次期戦闘機共同開発条約」「自治法改定」など、次々に憲法違反の悪法を強行しています。まさに戦前・戦中の中央集権的な国家体制作りに進んでいます。

経済面では「アベノミクス」による「コストカット型経済」の下で、「賃金のコストカット」「法人税のコストカット」に加えて、異次元の金融緩和による異常円安で物価高騰。その一方で、大企業は内部留保を180兆円も積み増し、大富豪40人の資産は3〜4倍に膨らんでいます。「大企業は空前のもうけを上げても賃上げに回さず、株主に回す。その結果、消費が冷え込み、設備投資ものびない。大企業の内部留保だけが異常に膨れ上がり、まさに「日本経済は機能不全」に陥っています。

①都本部50周年に向け、1500人同盟建設の具体化を図ります。
②治安維持法施行100年目を迎える来年、今も残る治安維持法体制の決着をめざします。
③大会方針の実践を支える財政を確立し、都本部財政健全化をはかります。
④大会決定を推進する役員を選出

特に24年4月に行われた日米首脳会談で「米軍と自衛隊の指揮統制のシステムを一体化する取り決めをしました。情報でも装備でも圧倒的に優越的な立場にある米軍主導で、自衛隊は事実上米軍の指揮統制のもとに置かれます。日米の軍事態勢の一体化が一層鮮明になってきています。

三、2023年度の活動報告
第46回大会は、50周年に向けて①空白地域に支部を建設し、1500人の都同盟をめざす。②治安維持法犠牲者名簿を補充し、更新する。③財政の確立をめざす、と決めました。

このような状況の中、24年4月投票の衆院3補選で野党が圧勝し、自民党が惨敗しました。「貧困と格差」「気候危機」「ジェンダー」などが山積する中、「市民と野党の共闘で新しい政権」を模索し、国民の期待と注目を集めています。「ふたたび戦争と暗黒政治を許さない」同盟の役割がますます重要になっていきます。

1 支部建設と会員拡大
①自民党の戦争する国への暴走、アメリカ軍指揮の戦争体制がすすむ中、国会行動、理事会前の街頭宣伝で横断幕、幟、ゼッケンをつけ、11年前から訴え続けています
②ロシア、イスラエルの侵略戦争への抗議、即時停戦、ガザ・ウクライナ支援募金にも取り組んできました。今年1月の能登地震の支援募金に取り組みしました。③支部建設では、目標の5支部達成とはいきませんでした。大田支部、中央支部の2支部が誕生。台東支部、渋谷支部結成の準備が進み、文京区、品川区でも支部建設の相談が進んでいます。④支部活動では、21支部中10支部が顕彰会、学習会などに取り組み、9支部が会員増、7支部で会員減となりました(5月末)。

た(5月末)。

⑤大田支部は結成総会で15人、中央支部では4人が増え、会員は5月末現在で、前大会から87人入会、退会が29人で58人増になりましたが、4月1日の現勢調査で、数支部で会員の整理があり、実質は23人増にとどまり、現勢は1340人です。⑥同盟の役割がますます重要になる中、あらゆる取り組みの中で、同盟員拡大を独自追及することが重要です。5〜7月の「特別期間」を全支部と役員で目標達成のために全力をあげましょう。7月都本部大会までの特別期間の拡大目標は40人ですが、退会者を考えると60人の拡大が必要です。

2 国会請願と活動

①24年5月15日は国会請願行動でした。全国から150人、東京から24人が参加し、うち9人が初参加でした。北海道から菱谷良一さん(103歳)も参加されました。②東京は9500筆の署名で、25の議員事務所を訪問し、署名6500筆を届けました。この訪問で、12人が紹介議員を受諾しました。衆院補選で唯一市民と野党の共同候補としてたたかい、勝利した東京15区酒井なつみさんも快く引き受けてくれました。③23年は、145団体に郵送で署名を要請しました。民青都委員会、共産党都委員会と懇談し、東京教育会館の9団体、東京労働会館の9団体を訪問し、要請しました。うち、8団体841支部・分会への署名要請を承諾してもらい、郵送しました。④「不屈」11月号、2月号、4月号に署名を返信封筒付きで折り込みました。返送署名は個人78人、682筆。52団体から1884筆の計2556筆と多くの署名が寄せられました。団体では、新婦人10支部、都教組4支部、区労連・区職8支部、土建5支部などです。⑤今年は9500筆で昨年の12000筆からの後退は、昨年は世田谷土建1500筆、練馬土建3000筆あったことを考えると個人署名が大きく前進しました。

3 映画「わが青春つぎはとも」
第3次上映運動
実施できたのは世田谷支部のみで、2回70人でした。板橋、八王子、港、練馬の支部と渋谷支部準備会が上映を予定しています。

4 顕彰運動

治安維持法による犠牲者の顕彰活動は、国賠法制定運動とともに同盟の重要な活動の一つです。①毎年定期的に顕彰している古川苞、中島辰猪(葛飾支部)、市川正一(八王子支部)、布施辰治の墓前祭(豊島支部)、鶴彬顕彰会(新宿支部)を継承するとともに、港支部が初めて催した「杉浦正男さん墓前祭(港支部)」など、新たな顕彰活動を創出することが必要です。②都本部では、多喜二祭・亀戸事件・東京山宣会などに参加しています。

5 学習活動

①学習活動は同盟活動の原動力です。この一年間、様々な形で「戦争と平和」「国際人権」「顕彰活動」「治安維持法と現代」などのテーマで取り組んできました。②山宣ウオークや多喜二ウオークなどのフィールドワークを、いくつかの支部が独自で企画して取り組んでいます。「武器なき斗い」「種まく人びと」「鶴彬」などの上映に取り組む支部も生まれています。

6 財政活動

①財政活動の実務改善で、システム導入から2年が経過しました。②23年度は会費納入率は80%でしたが、収入が51万2千円増、支出も物価高の影響で増えましたが、若干のプラスになります。正確な数字は大会時に報告します。22年度に続き二期連続で財務を改善することができました。

7 女性部活動

①各支部に女性部を確立する方針は、板橋支部で「女性のつどい」が開かれ、物品販売などの財政活動がありました。

②他団体との共闘では、3月の「国際女性デー」、秋の「日本母親大会」に実行委員を派遣しています。署名もお願いし、今年は東京母親から444筆が届きました。

③12月8日の母親大会全国連鎖行動では、赤紙を配り、開戦日を思い起こし、再び戦争と暗黒政治を許さないと有楽町とお茶の水駅頭で訴えました。

8 青年部活動

今期は特記すべきことはありませんでした。

9 友好団体との共同

① 4月13日の東京・平和パーク集会には、平和団体、国際交流団体、安保体制打破新劇人会議などが参加し「都知事選に勝利し東京から平和の発信をしよう」と交流しました。② 地域のスタンディングや戦争展の取組みには、8支部が参加し、地域での共同の取り組みも進んでいます。③ 婦団連、婦民、新婦人や母親連絡会などの女性団体、日中友好協会、国民救援会、東京原水協、自治労連、東京土建、レック・パージ反対全国・東京連絡センター、亀戸事件実行委員会など多くの団体との交流を深めてきました。特に渋谷・中野・杉並多喜二祭実行委員会でも同盟も役割を果たしています。

10 関東ブロック会議

23年は千葉県本部が担当で千葉市で開催し、67人が参加しました。小松実副会長の記念講演「今につながる治安維持法体制への決着を」は、参加者に感動を呼び、同盟運動への決意を固め合うことができました。

11 二役・理事会の活動

① 都本部は、これらの同盟活動を推進するため、三役会議、理事会を毎月開催し、常に目標を明らかにして活動してきました。② 13年11月の秘密保護法閣議決定に抗議宣伝をして以来、毎月の理事会前には宣伝を続けています。また理事会では議題に入る前にミニ学習会を実施。『治安維持法と現代』をテキストに情勢を交流し、全国の経験から学び、同盟の方針を理解する時間になっています。理事会後には「方針と経験交流」のFAXニュースを213号まで発行しています。

12 都知事選・都議選

① 4月26日の衆議院議員補欠選挙で「市民と野党の共闘」で、自民党政治を変える展望を切り開きました。この教訓から学び、都知事選、都議補選勝利のため全力をあげましょう。② 「檄」を送ります。

四、2024年度活動方針

1 国会請願と署名活動

① 国会請願署名は3万筆を目標に取り組みます。各支部はそれに呼応した目標を決めましょう。② 国

賠署名の新たな前進のために支部を基礎に「全会員10筆署名」に取り組み、団体訪問を重視しましょう。各団体への要請は、大会後すぐに複数で訪問し、懇談の中で国賠署名と運動の意義を訴え、入会と賛助会員への協力を求めましょう。③ 映画「種まく人びと」『治安維持法と現代』の普及に努め、「わが青春つきるとも」伊藤千代子の生涯」上映運動への協力を要請しましょう。

2 支部建設

① 戦争する国へ暴走する岸田自民党内閣に立ち向うため、空白地域に支部を建設し、50周年に向けて東京23区、三多摩10地域に支部建設をめざします。② 支部は『支部活動の手引き』を参考に支部理事会(役員会)の定例化を柱にして活動の強化をはかります。③ 直属会員の実態をつかみ、都本部役員が手分けして働きかけを強め、支部建設に結び付けます。④ 空白地域での「種まく人びと」「わが青春つきるとも」伊藤千代子の生涯」上映運動を推進し、DVD上映会ははじめ、学習会やイベントに取り

組み、支部建設をめざします。

3 会員拡大

① 3年後の第50回大会(50周年)までに1500人の都同盟建設をめざします。② 支部建設・支部再建を映画「わが青春つきるとも」第三次上映会と結び、独自に入会を勧めましょう。必要に応じて「強化期間」など集中行動を設けます。全支部と全会員に依拠し、目標を達成しましょう。③ 支部は、会員拡大の目標を持ち、毎月行動日を決めて取り組みます。

4 学習活動

① 支部を基礎に顕彰活動として先駆者に学ぶ、歴史修正主義とたたかうため、歴史学習を顕彰運動と結合させた同盟らしい学習に取り組みます。② 『治安維持法と現代』をテキストに、都本部・支部で学習し普及にとりくみます。③ 国民生活の犠牲の上に大軍拡を進める自民党政治を終わらせるため、全会員の学習を重視しよう。

5 意見書 採択運動

① 都本部で対策会議をもち、支部のある地域から準備します。日本共産党議員団などと事前に懇談し、

各会派に申し入れ、共同の事業として取り組めるようにしましょう。

②地域の民主団体と連携します。

都本部として対象自治体を決め、集中的に取り組みます。

6 顕彰運動

①都本部、各支部で犠牲者・遺族を掘り起こし顕彰します。犠牲者名簿を補充して順次、都版「不屈」に掲載します。

②自治体ごとに犠牲者名簿を整理し、支部建設、

「意見書」採択に活かします。

③東京都犠牲者名簿(改訂版)の作成は、都本部創立50周年を目標に小委員会をつくり進めます。

7、財政・組織活動

①「財政健全化」のため、財政活動の4つの基本、①会費納入100%が基礎、②募金目標達成、③賛助会員の組織、④事業活動を強化し、誌代などの未払いを克服し、財政を確立します。

②会費は、年度初めから請求し、毎月都本部に納入をしましょう。年内100%をめざします。

③都本部の毎月の固定経費は、活動費、家賃など約20万円です。毎月の納入が必要で

す。④「不屈」発行体制と内容の

充実ため編集委員会を再編成し、

定期開催を柱に一連の編集・発行作業が短期間でできるよう検討します。

(起稿、編集、印刷、発送まで10〜14日間かかっている)

⑤組織活動の強化のため、

都本部事務局体制を強化し、実務の改善に取り組みます。また、役員体制を確立し「支部活動の手引き」に基づき支部の活性化と支部建設を支援します。

8 女性部活動

①女性部の有志で「不屈」の「送チーム」を作り、毎月計画的に作業が進められています。これは今後理事会で責任をもって体制を作るべきと提案します。

②女性部本来の活動が不十分でした。10月の全国女性交流集会を成功させて、今後の活動に生かします。

③都本部の女性部確立をめざし、支部の女性部担当者を決め「春を呼ぶつどい」を開催します。

④婦団連、母親大会、婦人民主クラブ等との交流を深めます。

⑤映画「わが青春つぎるとも」第三次上映運動の成功めざし取り組みます。

9 青年部活動

同盟運動が国民運動として発展し、同盟の掲げる目標を実現するために、青年たちへの世代継承は不可欠です。そもそも治安維持法下で不屈に闘い、犠牲になった多くが青年であり、「戦争する国づくり」で最も鋭く犠牲を背負わされようとしているのも青年です。

その運動母体が青年部です。都本部は青年部に依拠して次のことに取り組みます。

①青年部の事務局体制を強化し、青年の中に同盟建設を進めます。

各支部でも青年に声をかけましょう。

②民青都委員会や山添拓氏はじめ、青年国会議員・地方議員との協力をさらにすすめるよう青年部で検討します。

③青年の要求に応える形で「種まく人びと」と同盟DVDの上映運動、学習を重視します。

とりわけ議員同盟員には、平和・人権を中心とした学習会を組織できるよう努めます。

10 友好団体との共同

①支部が地域の平和展実行委員会に参画し、独自のコーナーを持ち、同盟としての役割を果たします。

②民主的映画や演劇などの上映・

観劇や講演活動を推進します。

映画「わが青春つぎるとも」第三次上映会を通して、多くの団体との結びつきを強めます。

③東京・平和と交流のテーマパーク、多喜二祭実行委員会、亀戸事件追悼会、東京山宣会等に参加し、友好団体との共同と交流を進めます。

11、関東ブロック会議

24年10月14(月・祭)〜15日(火)に神奈川県で開催します。

記念講演は山田朗教授(明治大学)です。各県での支部づくりと会員拡大などの経験交流をします。

関東ブロック5000人同盟へ、各県本部の積極的目標を決めます。

五 新役員の選出

運動の継承が確実にできるよう、女性を積極的に登用し、将来を展望して若返りをはかります。

活動経験の豊富な役員とともに都同盟の将来を展望した新しい役員へ積極的参加を呼びかけます。

(以上)